

3月30日、名古屋地本は申17号「春の職場改善要求について」業務委員会を開催し会社に改善を求めた。

113項目の職場改善を要求に、会社は全く誠意のない回答に終始！！

点呼時の混雑で終了時間が過ぎた場合は超勤対応とする事を確認、ATS-P T関連に関する要求は今後も継続していくことを主張！

会社回答と主なやり取り

【共通要求】

1. 現在の日勤教育は見せしめであるので止めること。
回答：すでに回答したとおり。
2. 長期日勤を止めること。
回答：すでに回答したとおり。
3. 乗務に向けての審査を止めること。
回答：必要な教育、審査は実施する。
組合：現状の日勤教育は見せしめであると誰もが認識している。何故ならミスと直接関係ない事柄をやらされている。
会社：必要である。関連しているから行っている。
組合：停止位置不良でなぜ出区点検、応急処置までやらせるのか。ミスの事象と原因について教育を行えば良いことである。
4. 出発点呼を簡素化して時間短縮すること。
回答：その様な考えはない。
5. 運転阻害となっている指導添乗は止めること。
回答：どの様な事なのか分からない回答保留。
6. 睡眠時間を6時間以上確保すること。
回答：すでに回答したとおり。
7. 食事時間は1時間を確保すること。
回答：すでに回答したとおり。
8. 無線機のスピーカ音量が大きくて出発合図が聞き取りにくいので音量調整を設けること。
回答：その様な考えはない。
組合：前回は要求として出しているがこのことに関して会社は調査したのか。
会社：その様な調査は行っていない。
組合：音が大きいため聞かれて困る事柄までお客様にまで聞こえてしまう。
会社：以前、組合から音が小さいと要求があったではないか。

組合：音が小さすぎるのは困る。音量調整が出来るように求めているのである。

9. A T S - P Tの要注意駅をなくすこと。

回答：その様な考えはない。

組合：扱いが違うことはミス、事故を発生させる要因となる同じ扱いに改善すべきである。

会社：駅によって条件、設備が違うために全て一緒とはならない。

組合：地上子の増設などを行い運転士に負担が掛からないようにすること。

10. 列車停止目標を4両、8両、0両に簡素化すること。

回答：その様な考えはない。

11. 行路表の文字が小さく間違える可能性がある。大きくすることを求めてきたが何故出来ないのか明らかにすること。

回答：すでに回答したとおり。

組合：なぜ大きくすることが出来ないのか。

会社：大きくすると何枚も持ち歩く事になるので逆に大変ではないか。

組合：行路によっては大きくしても変わらないものもある。重要な所だけを大きくする方法もあるのではないか。

12. I Cカードのチェックと過去に遡っての乗務停止をやめること。

回答：すでに回答したとおり。

13. 運輸区により再教育の内容と期間にアンバラがあるので明確な基準を作ること。

回答：すでに回答したとおり。

14. 金山駅東海道ホームに駅員を配置すること。

回答：必要な要員は適切に配置している。

15. 名古屋駅5・6番ホームの乗務員詰め所を拡大すること。

回答：その様な考えはない。

16. 名古屋駅東海道下り線、関西線の乗務員詰め所を拡大と男子トイレを増設すること。

回答：その様な考えはない。

組合：一時的に乗務員が集中して十分な休憩が取れない時がある。集中したときでも休憩が取れるスペースに改善すること。

17. 駅・乗務員休憩室には電磁（I H）調理器を設置すること。

回答：すでに回答したとおり。

18. 泊まり勤務（駅・車掌）をする女性社員の準備時間を増やすこと。

回答：すでに回答したとおり。

19. 出勤・終了点呼の混雑時は管理者2名で点呼を行うこと。

回答：必要な時間は確保している。

組合：一時的に集中して点呼に時間が掛かることがある。

会社：終了点呼が遅れたときは超勤を請求して貰えばよい。

組合：臨機応変に二人で対応すれば済むことである。

20. 訓練指定の変更を認めること

回答：社会通念上、真にやむ得ない事情があれば認めている。

組合：具体的は冠婚葬祭にあたるのか。

会社：葬祭などはそうである。

組合：その範囲は何処までなのか。

会社：家族、友人とその時々々の管理者の判断による。

組合：裁判、地労ではどうなのか。

会社：証人になっている人は認めるが、その他の人は必ずしも必要としないのではないか。

21. 勤務終了後の風呂を自由に使用できる様にすること。

回答：すでに回答したとおり。

【名古屋運輸区】

1. 豊橋駅上り2番ホームから東京方出入り口、ダイヤル鍵の数字が小さく見にくいので大きくすること。

回答：その様な考えはない。

2. 豊橋駅上り3番線、出区点検の際、足下が悪いので安全通路に敷き板を設置すること。

回答：その様な考えはない。

3. 豊橋運輸区のトイレ洗面所の自動水栓を普通の水栓に変えること。

回答：現状で対応されたい。

組合：鍵の交換、敷き板の設置等は何も難しい事ではない。

会社：ダイヤルが小さいとは思わない。敷き板の設置も他会社との関係もあり出来ない。

組合：洗面所の関係は水量が少ないので多く出るように調整して欲しいだけの事である。

4. 南大高駅下り停止目標、現行2両標表示となっているのを8両標表示に変更すること。

回答：すでに回答したとおり。

5. 笹島下り出発信号機に更新地上子を設置すること。

回答：その様な考えはない。

6. 垂井駅下り線、7両停止目標は該当列車が無く不要であるため、見間違いによる停止位置不良の要因なので廃止すること。

回答：その様な考えはない。

7. 注意現示を超えて進行中にカーブの先で進行現示の信号が見える箇所には更新用地上子を設置すること。(例 関西線河原田下り場内)

回答：その様な考えはない。

8. 徐行に該当しない行路番号を工事一覧に記載しないこと。

回答：その様な考えはない。

組合：関係ない列車まで表示されている。行路番号を間違えて拾い出すと指摘される。最初から記載しないようにすること。

会社：徐行工事等の関係で出来ない。列車の遅れ、異常時に必要である。

組合：徐行工事は列車と列車の合間に行うので必要のない行路は記載しないこと。

9. 米原派出のトイレを洋式洗浄便座にすること。

回答：すでに回答したとおり。

10. 車掌全員に小型時刻表を配布すること。

回答：その様な考えはない。

組合：なぜ配布を止めたのか。

会社：小型時刻表が必要とする時がない。ポケット時刻表で足りている。

組合：今までは必要だから配布していたのではないか。

【大垣運輸区】

1. 美濃赤坂線ワンマン運転に伴い各駅ホームの照明が暗いので照明器具を増やし改善すること。

回答：すでに改善の工事を行っている。

2. 冬期は大垣車両区で列車の予熱をすること。

回答：すでに回答したとおり。

3. 大垣駅上り1番ホームの乗務員詰所にトイレを設置すると。

回答：すでに回答したとおり。

4. 岡崎駅、西小坂井駅の乗務員休憩室に列車遅延装置モニターを設置すること。

回答：その様な考えはない。

5. 大垣運輸区休養室の各部屋に身だしなみチェックするため鏡を設置すること。

回答：現状で対応してほしい。

組合：ネクタイ等のチェックをするときに必要ではないか。

会社：ロッカーに付いている小さい鏡でも十分に見ることが出来る。

組合：身だしなみを言うのであれば鏡を設置するべきである。

【神領運輸区】

1. 神領下りホーム休憩所、神領CMC前休憩所、土岐市駅休憩所に「ティファール」型ポットを設置すること。

回答：現状で対応されたい。

組合：電気ポットのお湯では何時の水が入っているか分からないので安心して使うことが出来ない。

2. A T S - P T 要注意駅である名古屋駅臨港本線塩尻方及び神戸方、大曾根駅上り1番線及び下り1番線、春日井駅中線（上り方）、多治見駅上り1番線に10両標とA T S - P T 地上子を設置し、安全のため運転士の負担を軽減すること。

回答：その様な考えはない。

3. 駅構内に設置してあるA T S - S の誤出発用地上子を撤廃すること。

回答：24年度以降必要のない地上子から順次撤去する考えである。

4. A T S - P T の現示アップ運転による遅れ防止のために、特殊な運転方法などの特例を作らないこと。

回答：その様な考えはない。

5. A T S - P T などの特例での運転方式をなくし、運転台にインジケーターを設置すること。

回答：その様な考えはない。

組合：パターンが分かるようにして貰えればよいことである。

会社：費用もかかることになる。

組合：今後P Tの高度化は考えているのか。

会社：その様な事は考えていない

組合：現状は運転士に負担が大きく掛かっている、インジゲーターの設置と地上子の増設を行うこと。

6. 些細な事象での報告書作成は翌日の勤務終了後など負担にならない時間に作成を要請すること。

回答：その様な考えはない。

7. 規程の訂正にかかる時間は勤務時間とすること。

回答：労働時間内で実施している。

組合：現状は労働時間内では出来ない。

会社：家で訂正してくれとは言っていない。出先での時間、終了点呼までの手待ち時間に訂正して貰えればよい。

組合：そんな時間はない。時間内で出来ないときは超勤とすること。

8. 現場の責任のみを押しつける規程の改正はやめること。

回答：必要な改正は適時実施する。

9. チケッターの蓋を外した場合でも、蓋が離れないように改良をすること。

回答：その様な考えはない。

組合：蓋が外れて問題にされた社員がいる。会社は蓋が外れないように対策をたてるべきである。

10. 名古屋駅2009M乗継及び、下り「しなの号」で入換により名古屋駅中上1荷据付後乗り継ぎとなる場合「地上子と重なりがないか」確認する作業がふえた。ATS-S Tが正常に「入り」とならないことがわかればその後の処置等、時間がかかり、乗務員の負担も増え、列車に遅れが生じる。

乗務員に負担が掛からないように地上設備、車上設備の改善を早急に行うこと。

回答：24年度以降必要のない地上子から順次撤去する考えである。

11. 名古屋駅中上本（8番）着折り返し、瑞浪駅下り1番、610M出区点検時、地上子と重なる事象が発生している。停止目標、地上子の移動等、改善すること。

回答：24年度以降必要のない地上子から順次撤去する考えである。

【中津川運輸区】

1. 前泊する場合の条件を緩和して本人の自由にすること。

回答：その様な考えはない。

2. 塩尻駅ホーム詰め所にテレビを設置すること。

回答：その様な考えはない。

3. 運輸区駐車場の駐車許可証を全員に配布すること。

回答：その様な考えはない。

4. 出勤・出発・終了時の点呼が混雑しているときは当直助役2名で対応すること。

回答：必要な時間は確保している。

【豊橋運輸区】

1. 天竜峡駅の乗泊の空調設備を各部屋単独とすること。

回答：すでに回答したとおり。

2. 平岡駅乗泊は暖房の効きが悪く非常に寒いので改善すること。

回答：すでに回答したとおり。

3. 新城駅の乗泊は第一・第二と分かれていて、風呂場は片方にしか無く不便であると共に風呂場に行く際にホーム・一般の人から見えてしまうので、乗泊を立て替え統合すること。

回答：すでに回答したとおり。

組合：会社は一般人から見えてしまうことに問題は無いのか。

会社：実際に何人のお客様が居るのか。

4. 飯田線において現在、冬期の予熱は平岡駅以北であるが、新城・本長篠・中部天竜・水窪にも予熱作業を付けること。早朝はマイナス3～5度となり、旅客サービスの観点からも必要である。

回答：すでに回答したとおり。

5. 予冷・予熱の基準(時間・地域)を明らかにすること。

回答：すでに回答したとおり。

6. 東交事への委託解除(無人化)(三河一宮・東新町・本長篠・平岡)をとりやめ、現行通りの有人駅とすること。

回答：すでに回答したとおり。

7. 豊橋駅旅1・旅2番線、到着時・出区据付け時の車止めに対する頭打ち5 km/h 以下ATS-P Tのパターン接近を改善すること。

回答：その様な考えはない。

8. 豊橋運輸区入区時の車両停止標識に対する頭打ち 5 km/h 以下パターン接近を改善すること。

回答：その様な箇所はない。

9. 豊橋運輸区の点呼場が狭い。混雑時は鞆を置く場所・手帳記入の為のテーブルも不足している。改善すること。

回答：その様な考えはない。

10. 豊橋運輸区においの点呼混雑時間帯(9 ～ 10 時台) 出発点呼・出勤点呼に行列が出来ている。出発点呼と出勤点呼の対応助役を 2 名とすること。

回答：必要な時間は確保している。

11. 終了点呼は終了時間の何分前に受けて良いのか統一見解を示されたい。

回答：その様な考えはない。

12. 運転情報記録による乗務員のあら探しは止めること。

回答：すでに回答したとおり。

13. 管理者による、旅客を装った列車添乗・写真撮影による乗務員への指摘など公私混同は止めること。

回答：必要な指導は実施する。

14. インターネット上に列車や駅の写真や動画が多数あり、中には乗務員の顔(姿)がはっきり分かり個人を特定出来る画像がたくさん有る。個人情報・肖像権の観点から問題である。会社としてしっかり対応すること。

回答：第 3 者が撮影した画像等の掲載によって、会社にとってセキュリティや営業等の業務運営に影響があると判断した場合は適切な対応を行っている。

組合：会社はインターネットへの書き込み、動画等チェックは行っているのか。

会社：その様な事象があることは承知しているが特にチェックしているわけではない。

組合：マニアも含めて色々な動画等が投稿されている。運転に支障が出るような撮影をしてくるマニアもいる。どの様に対応するのか指導をして欲しい。

会社：その様な場合は警察に訴える等、不都合な事があつたら管理者に報告して下さい

組合：インターネットへの書き込み、動画から社員が特定出来るような内容であれば会社として削除を求めること。

15. 年休が入らない、休労・呼び出しが多発している。駅移動・転勤などにより飯田線乗務可能者は慢性的に不足しているので要員を増やすこと。

回答：必要な要員は配置している。

16. 飯田線の冬期は空転・滑走により ATS-PT ブレーキ動作が頻発している。その都度列車に遅れが生じ、お客様にご迷惑をおかけしている。対策を講じること。

回答：すでに対策済みである。

17. 313系3000代車両にも散砂装置を取り付けること。

回答：現状で対応されたい。

組合：空転が多く発生していることから全車両に散砂装置を付けるべきである。

会社：全車両には必要ない。一部の車両には取り付けてる。

組合：なぜ全車両に取り付けないのか。

会社：前の列車が、砂を撒けば、その効果が残っているから必要ないと考える。

組合：いつまで効果が残っているのか分からないし、朝一番列車はよく空転をする。

会社：前日の効果が残っている事もある。

組合：その様な不確実な事では運転士は安心して運転できない。全ての車両に散砂装置を付けること。

18. トイレ凍結・車輪凍結・BCゲージ凍結に対策を講じること。

(使い捨てカイロを貼り付ける等は何ら対策にならない。)

回答：外気温が低い状況下で車両を留置する場合、留置場所、気温、湿度、風等の条件によっては車輪、制輪子やトイレの水、圧力計等が凍結するという事象等が発生する場合があります、これらについては個々の事象に応じた対策及び応急処置を実施しているところである。

組合：抜本的な対策、改善を行うべきである。

会社：今年は特に寒さが厳しかった事による。過去にはなかった事である。

組合：来年はどうなるのか分からない。抜本的な対策を立てること。

19. 豊川駅下り場内信号機・東上駅上り場内信号機は確認距離が短く、信号喚呼と停車ブレーキ時期が重なる為、余裕を持った運転操作が出来ない。中継信号機を設置すること。

回答：その様な箇所はない。

【伊那松島運輸区】

1. 便乗の時、乗客数が少ない時は着席も良しとすること。

回答：その様な考えはない。

2. 駒ヶ根駅の上りホーム(上り1番線)の屋根を辰野駅方に延長すること。

回答：すでに回答したとおり。

3. 出区時間を増やすこと。

回答：その様な考えはない。

4. 留置車両のパンタグラフ上部に屋根をつけること(降雪対策)。

回答：その様な考えはない。

組合：雪の重みでパンタグラフが上がらないことがある。

会社：ジスコン棒で上げて貰えばよい。

組合：屋根を付けるか、冬の間は通電の状態にして置けばお客様へのサービスアップにも繋がるのではないか。

会社：雪の重みでパンタグラフが架線と離線する時にアークが飛び故障の原因になる。

組合：木曽福島駅では設置されている。雪の多い箇所において対策を考えること。

**5. 天竜峡駅上り列車の下り本線○標停止目標を辰野方に1メートル程度移動させること。
ATS地上子が近い為手前に停車するように指導されている**

回答：すでに移動している。

6. 伊那大島駅下り列車下り本線○標停止目標手前のホーム上黄色い線が引いてあるが余分なため消すこと。

回答：回答保留

組合：以前の停止目標として使われていた。必要ないものは間違いの元であるから消すこと。

7. 元善光寺駅、上りホームは2両停止目標と○標停止目標があるが2両停止目標を3両標とすること。3両編成での運転時○標に停車するがホーム先端に旅客渡り通路があり発車時、旅客の動向が確認しにくく危険である。

回答：その様な考えはない。

8. 駒ヶ根駅上2へ留置する際、昇降台階段があり手歯止めしにくく無理な体勢を強いられている、階段を辰野方に移設するなどの対策を立てること。

回答：必要により検討する。

9. 313系3000代車両に散砂装置を取り付けること。

回答：現状で対処されたい。

※豊橋運輸区での論議

10. 列車のトイレ凍結に対策を立てること。

回答：個々の事象に応じた対策及び応急処置を実施しているところである。

組合：お客様へのサービスの低下と苦情につながる対策を立てること。

11. 313系ワンマン列車の到着放送が早すぎるため対策を立てること。

回答：その様な考えはない。

組合：放送のタイミング設定を変えること。

12. 313系ワンマン列車発車時ATS-P警音とワンマン放送のチャイムが同じ、ワンマン放送のチャイムを変えること。

回答：すでにチャイム音は異なる仕様になっている。

【駅 関係】

1. 管理駅から被管理駅への助勤を入れる場合は定期的に入れること。

回答：すでに回答したとおり。

2. 非常時対応・警備上、駅の泊まり勤務は2名体制にすること。

回答：その様な考えはない。

3. 営業勉強会・運転訓練会の移動時間は労働時間とすること。

回答：すでに回答したとおり。

4. 営業勉強会・運転訓練会は日勤で行うこと。

回答：すでに回答したとおり。

5. 駅業務で使用する印鑑（シャチハタ）を支給すること。

回答：すでに回答したとおり。

6. 改札口で乗り越し精算処理を行うRR50に領収書発行機能付けること。

回答：すでに回答したとおり。

7. 豊橋からの「名古屋往復きっぷ」での乗り越した場合は通常の乗り越し精算が出来るように制度を変えること。

回答：すでに回答したとおり。

8. C制の乗車券類を払い戻をする場合、どこの駅でも出来るようにすること。

回答：すでに回答したとおり。

組合：お客様は他会社かどうかは関係ない。どこの駅でも出来るようにすること。

会社：クレジット会社との関係もあり、そうはいかない。

組合：JR他社と検討をすること。

9. イベント関連の入場券等の発売は大駅での発売にすること。

回答：拠点駅で発売している。

組合：拠点駅とはどこなのか。

会社：東海道で言えば快速の止まる駅である。

組合：窓口が一つしかない駅での発売は行わないこと。

10. 各駅にJR各社の列車編成・座席表を配布すること。

回答：その様な考えはない。

11. 土岐市駅、現行の徹夜1・日勤1を徹夜2の勤務体系とすること。

回答：その様な考えはない。

12. 土岐市駅、1階休憩室に液晶テレビを配備すること。

回答：その様な考えはない。

13. 土岐市駅、事務室に加湿器を設置すること。

回答：その様な考えはない。

14. 大曾根駅の日勤は千種からの助勤ではなく要員を増やし日勤指定を作ること。

回答：すでに回答したとおり。

15. 熱田駅1階のシャッターが老朽化しているので新しいのにすること。

回答：その様な考えはない。

16. 熱田駅本屋入り口ドアの立て付けが悪いので交換すること。

回答：その様な考えはない。

17. 熱田駅、御田踏切廃止後の駅の要員体制を明らかにすること。

回答：必要な時期に説明を行う。

組合：4月の要員計画で説明するのか。

会社：そうなります。

18. 熱田駅、寝室は起床装置のみなので故障・停電を想定して目覚まし時計を置くこと。

回答：その様な考えはない。

19. 睡眠時に使う毛布に毛布カバーを付けること。

回答：現状で対応されたい。

20. ポケット時刻表を駅社員全員に配布すること。

回答：必要な配布は行う。

21. 事故・列車遅延、運転取り止め等、輸送指令からの一斉放送が遅い場合があるので素早い情報を流すこと。

回答：必要な情報は適時、適切に伝達している。

22. 岐阜駅、現在のエレベーター廃止し新しくラッチ内に設置すること。

回答：自治体との協議を行っている。

23. 岐阜駅出札窓口では控除原券の整理をする時間がなく休憩時間で行っているのを改善をすること。

回答：出札整理担務もあるため業務を効率を図る事で対応できると考えている。

組合：出札整理担務はない。ATVの案内がお客様の動向を見て手伝っている事はあるが、多くは休憩時間に食い込み超勤が発生している。

24. 金山駅的車椅子、異常時対応として要員を増やし増徴をを毎日入れること。

回答：その様な考えはない。

組合：車椅子のお客さんが非常に多くなっている。大きな駅では毎日で時間がマチマチであり休憩時間等を犠牲にしている。

会社：現状の要員で問題はない。

組合：波動的な要素もあるが曜日、時期を考慮して対応すること。

25. 金山駅2番窓口の午後の休憩時間を増やすように改善すること。

回答：保留

組合：細かい休憩を入れるのではなく、休憩時間のある程度まとめて入れて欲しいと云うことである。

26. 金山駅ホーム立ち番配置、狭い部分があり多客時は危険。ホームドアが無理なら人を配置すること。

回答：保留

組合：乗降人員が多い駅であるにもかかわらず、危険な箇所がある。

会社：常時、人を置くことは無理。

組合：昼間の少ない時間帯は必要ないかもしれないが、朝晩の通勤時間帯は人を配置するべきである。

会社：状況を見て人を配置している。

組合：毎日配置しているのか。出来なければホームドアか安全柵を設置すること。

【名古屋工場】

1. 職場に配属されてくるプロ高専、大卒の社員は1年～2年で転勤して技術継承ができない。職場に定着する社員の配置を行うこと。

回答：適切な社員の配置実施している。

2. 毎月、若手を中心に出張したり、他の業務で職場を離れることが多い。そのため、要員不足になり、超過勤務が発生しているので要員を増やすこと。

回答：適切な要員を配置している。

3. 各車両所から車輪取替えが工場に配送されて来るが、整備期間が2週間前後と短いので、3時間超勤が頻繁に発生しているので作業行程に余裕を持ったものとする。

回答：整備に必要な期間は十分に確保されている状況である。

4. 詰所が休憩場所になっているので、長椅子・電子レンジを置くこと。

回答：必要な設備は整備している。

5. 異常時など情報収集のため、詰所にテレビを設置すること。

回答：必要な箇所には設置している。

職場の要求をリニア建設の犠牲にするな！！
安全で働きやすい職場を目指し問題を上げよう！！

以 上